

料金後納郵便

ゆうメール

新年度が始まりました。
 新入生、新社会人の初々しい姿を見ると、これからどんな風に成長するのかしら？とワクワクします。
 今回は「叱る」をテーマに、母親である私と長男が少し成長できた出来事を書いてみたいと思います。



『私と長男の長い3時間』

■「何も起こりませんように」と案ずる日々

中学3年生になった長男がまだ小学5~6年生の頃の出来事です。
 近所に4つ下の男の子S君がいました。長男が友人と家の前で遊んでいると、S君はその間に入ってくるらしく、長男はそのことにしばしば腹を立てていました。

S君に不満をぶつける長男に対して、私は「仲間に入れて欲しいんじゃない？」「あなたは、S君よりお兄ちゃんやねんから、遊んであげなあかんよ」と言いながら、「もう少し大きくなったらそのうちおさまるだろう」と高をくくっていました。

それでも、近所とは波風立ずにうまくやっていきたい、という思いもあり、長男とS君との関係に頭を悩ませ、「どうか何も起こりませんように・・・」と案ずる日が続いていました。

■とうとう起こった出来事で、長男と向き合う

そんなある日、家の中にいた私の元へ、外で遊んでいた次男が飛び込んできました。

「D（長男）がS君を※こかして、頭打った！」
 びっくりした私は、慌てて外に出ました。

（※「こかして」は標準語で「転倒させて」の意味）

私 「何したの！ちょっとこっちに来なさい！」
 長男 「いやや！」
 私 「人をケガさせたでしょ、謝りなさい！」
 長男 「あいつが悪いのに何で謝らなあかんねん！」

私は甘い親だと思われたくないので、無理やり謝らせようと思いました。すると、私の手を振り払い、長男は泣きながら、どこかへ行ってしまいました。
 S君のお母さんに、ケガは大したことは無いから大丈夫だということを聞き、後で長男と謝りに行きますと言って、その場を離れました。

暗くなって、長男は家に帰ってきました。近所をぐるぐる歩いていたそうです。

「お母さんも一緒に謝るから、謝りに行こう」
 私が何度言っても、かたくなに嫌だと言います。
 ”そこまで謝りたくないのには、理由があるのかも知れない” そう思った私は、「なんでそこまで謝りたくないの？」と彼に尋ねました。

すると、長男は立て続けにこう言いました。
 『これまでに、何回もS君を入れたことがあったが、ルールを守って遊べない。だから、入れたくない。でも、邪魔してくるから、今まで何回も、口で「やめて」と言ってきた。なのに、S君は、自分のお母さんに告げ口して、S君のお母さんは自分ばかり注意してくる。どうして自分ばかり怒られないといけないのか分からない。』

私はこれまでも、何度も同じ内容を聞いているつもりでした。でも、聞いているようで聴いていなかったのです。その時はじめて、子供の思いを聴いてやることのできたのだと思います。

“この子はこの子なりに精いっぱい考えてやってきた結果だったんだ…” そう思うと、相手方の手前もあり、頭ごなしに謝らせようとしていた自分を反省しました。

（裏へ）

〒654-0067
 神戸市須磨区離宮西町 1-2-20-104
 NPO 法人マザーズサポーター協会



■失敗したことも学びの種に…

その頃には、長男も落ち着いて話すことができていました。今回のことは、自分達のサッカーボールを取られ、それを取り返そうとして、S君が転倒してしまったということでした。

「わざとやった訳ではないけど、相手にケガをさせたことはいけない事だよな？」私がそう言うと、長男はうなずきました。「このままでは自分もすっきりしないよね？どうしたらいいと思う？」という私の問いに対し、長男は「これまで我慢してきたことや、気持ちをS君やお母さんに分かって欲しい。」と言いました。そして、私も一緒に謝ること、言いたいことをきちんと伝えられるように助けることを約束すると、長男は覚悟を決めたように「謝りに行こう」と言いました。

謝りに行くことができたのは、3時間以上が経ってからのことでした。今回のケガのことを親子で謝った後、「伝えたいことがあるんだよね？」と私が言うと、長

男は、嫌だったこと、やめて欲しいことを、ぽつりぽつりでしたが、話し出しました。S君のお母さんは、照れてふざけているS君に、きちんと聞くように促してくれ、最後はお互い「ごめんね」で終わることができました。それを伝えることができた長男は、納得したような、ほっとしたような、清々しい顔をしていました。

本当は、すぐに謝った方がよかったのかもしれませんが。ケガは大丈夫と言ってもらえたので、このような関り方ができたのかもしれませんが。

しかし、どんな出来事の中にも、彼なりの思いがあり、納得できないまま無理やり言わされて謝ったとしても、それは彼にとって本当に意味のあるものにはならなかったということを私は強く感じました。そして、長男にとっても「相手とうまくいかない時にどう乗り越えるのか」を学ぶ良い機会になった出来事でした。

(文責：土元 紀子)

「NPO法人マザーズサポーター協会 ニュースレター 第31号」をお読みいただきありがとうございました。過去に情報提供のご希望があったみなさまに、送付させていただいています。今後も更に内容を充実させ、育てる側に役に立つ「自立型支援方法」の情報やイベントのご案内などを発信させていただきます。

もしご不要の場合は、お手数ですが下記のメッセージにお名前を明記の上「不要」とご記入いただきFAXか、メールを頂けたらありがたいです。どうぞよろしく願いいたします。

ご意見、ご感想などもいただけましたら、今後に反映させていきたいと思っております。いつでもお待ちしております。

✂-----キリトリ線-----

ご感想

HPなどに掲載(イニシャルやペンネーム)させていただく場合がありますので、好きなお名前をお聞かせ下さい。

お名前

NEWS
成長を育み、信頼関係を築く

叱り方検定

日時：2018年5月 12日 (土)
9：30～11：30
場所：神戸市婦人会館

詳しくは、同封チラシまたはホームページをご覧ください。
(<http://shikarikata.jp/shikarikatakentei>)



メディアでもたくさん掲載されました！

ありがとうございました！！

～信頼関係を作り、自立と当事者意識、考える力を育てる「自立型支援方法」～

<http://m-supporter.com>

FAX:078-731-0615

mothers@m-supporter.com

NPO 法人マザーズサポーター協会

このニュースレターは当協会のホームページからもご覧になれます